



石川県済生会金沢病院 〒920-0353 金沢市赤土町二 13-6 TEL (076) 266-1060 FAX (076) 266-1070
E-mail saiseikh-s@saiseikaikanazawa.jp URL <https://saiseikaikanazawa.jp/>



放射線部長 吉江 雄一



当院のMRIはシーメンス社製のアルテアという装置です。これ自体は令和元年度の発売からある程度経過しており、全国で幾つもの病院でも導入されているものではありませんが、当院の装置はシーメンス社製の中でもある特別な機能を備えています。それがイノビジョンであり、全国でもわずか数カ所しかありません。当院では1年半ほど前にこれが搭載されましたが、こしばらくは不調で使えておりませんでした。ただ、これまでに検査を受けた方々からは、概ね好評な評価をいただいております。そしてついに本年の1月中旬より再稼働することができました。

イノビジョンとは新しい映像音響装置のことです。従来は、検査中には音楽を聴けるくらいで、聴くにしてもなかなか快適とはいえない状況でした。それが今回MRI装置の寝台に寝ていただきますと、まず目の前で映像(動画)が見られるようになりました。その映像にあわせて音声も同時に聴くことができます。音響システムには骨伝導を用いており、どうしてもうるさい音が生じるMRI検査の最中でも、明瞭に音声を聴くことができる点が今までとの大きな違いです。もちろん音声のみの使用も可能です。

これにより、比較的長い間寝台に横になってもらうことへの間接的な負担軽減が期待されます。また、狭い空間で圧迫感を感じてしまう方、大きい音が苦手な方も、今までより安心して検査に臨んでいただきやすい環境をご提供できるようになりました。

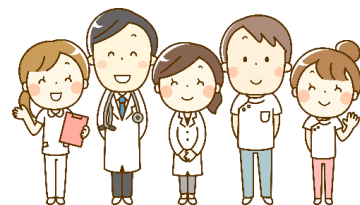
検査の際には、ご自身のお好みの映像や音楽の視聴にもある程度対応できるようになっております。検査当日にお伺いさせていただきますので、担当者に遠慮なくお申し出ください。MRI検査が必要な方が、当院のイノビジョンで少しでも寛いで、安心、快適な状態でいられるよう、そして皆様により良い医療をご提供できるよう取り組んでまいりたいと考えております。今後とも何卒よろしくお願い致します。



令和4年度 外来患者満足度調査の結果について（抜粋）

<調査目的>

今後のより良い病院に向けての検討及び患者サービスを推進する際の基礎資料を得るため、現在の外来の実態や当病院への評価・満足度を把握し、その問題点の改善や満足度の向上に役立てることを目的として実施。



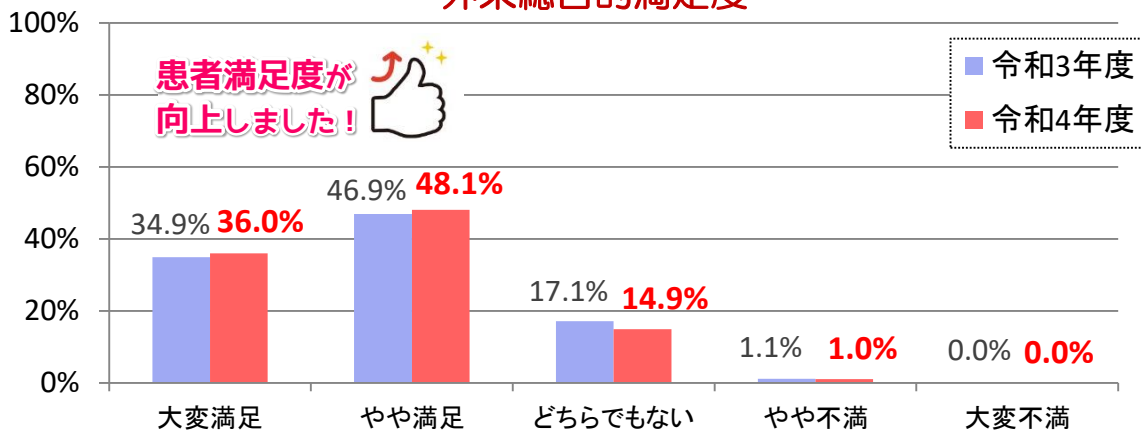
<調査設計>

- ・調査対象：令和4年10月17日（月）～21日（金）に来院された外来患者さん及びそのご家族
- ・調査方法：院内でアンケート用紙をお渡しし、院内設置の回収箱で回収

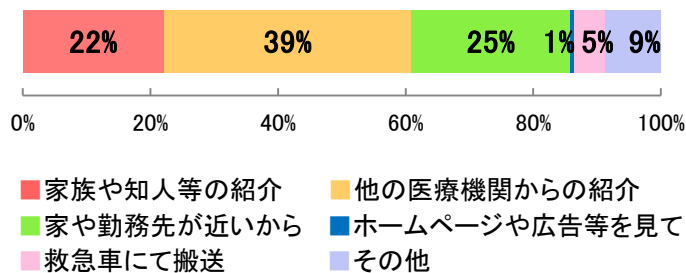
外来総合的満足度（有効回答のみを集計）【回答総数：465人】

年度	有効回答数	総合点数	大変満足 (5点)	やや満足 (4点)	どちらでもない (3点)	やや不満 (2点)	大変不満 (1点)
R3	175	4.15	61人 34.9%	82人 46.9%	30人 17.1%	2人 1.1%	0人 0%
R4	397	4.19	143人 36.0%	191人 48.1%	59人 14.9%	4人 1.0%	0人 0%

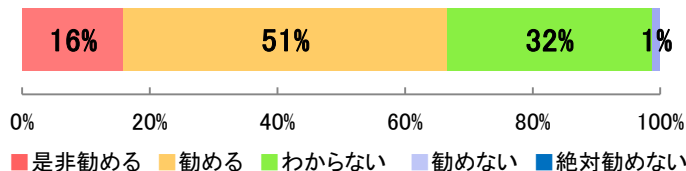
外来総合的満足度



当院を受診されたきっかけ



当院を他の方へ勧めるか



昨年度より多くの方がアンケートを回答してくださいました。ご協力くださった患者さん、ご家族の皆さまにお礼を申し上げます。

総合満足度が、昨年度と比較し増加した結果が得られました。しかし、当院を他の方へ勧めるかという設問では、昨年度は「是非勧める」及び「勧める」の回答が71%でしたが、今年度は67%と減少しておりました。

今回の調査結果を踏まえ、さらに多くの患者さんに選ばれる病院となるように、職員一人一人が常に患者さんファーストを自覚し、医療サービスの向上に努めていきます。調査項目以外にもたくさんの貴重なご意見を頂きましたので、改善していきたいと思います。



Q 待っている人のおしゃべりが多いように思う。ポスターなどで対応してほしい。

A 各診療科の待合室に「院内ではお静かに願います。」のポスターを掲示し、注意喚起をしました。（総務課）



Q 採血時のイスは、ひじ掛けがないほうがよいのでは

A この度はご不便をおかけしまして申し訳ございません。
座ったり立ったりの動作は、ひじ掛けがないほうが都合よいのですが、採血時に体調が悪くなる場合には、ひじ掛けで転倒が防止できるということがありますので、ひじ掛けのあるイスを使っています。動作時はできる限り介助などさせていただきますので、ご都合の悪い方はお声掛けください。（検査部）

Q 静かな受付で体重を聞かれた。ちょっと恥ずかしい。

A 配慮に欠ける対応をしてしまい、申し訳ありませんでした。
受付担当者や外来看護師とともに検討し、今後は直接お聞きするのではなく、受診表の余白に記入していただく方法に変更させていただきました。今後も、接遇の改善に向けて、努力してまいります。（看護部）

Q 1Fロビーの椅子で一部沈み込みが大きく立ち上がりにくくなっているものがあるので修繕してほしい

A 1階エントランスの椅子につきましては、同様のご指摘を受け、順次入れ替えを進めています。（施設用度課）

感謝のお言葉など

母がかかりつけ医の紹介で何回も来ているそうです。ほぼ娘の私が連れて来ますが、母も私もいつも対応が良く、病院なのに来やすく感じています。

いつもありがとうございます。ここまで良くなったのは、先生やスタッフの皆さんのおかげです。本当に感謝しています。

声かけができていて、落ち着いて治療できています。ありがとうございます。安心しています。

外来の看護師さん達、とても教育ができていて素敵な方々ですね。

このまま患者に寄り添ってくれる病院であってほしいです！いつまでも！！

ありがとうございます！



11月28日(月)、SNAP(済生会なでしこアートプロジェクト)チームによって、紙管を組み立てた『ゴールドに輝くクリスマスツリー』がエントランスに展示されました。このツリーには、来院される患者さんを温かな雰囲気でお迎えし、病院スタッフにも日々の活動にゆとりと喜びをもたらせれるようにと願いが込められています。

今年はエントランス入口に置いてある鉢植えのゴールドクレスト(観葉植物)にも冬らしい白の造花やクリスマスカラーのリボンを飾り付けし、ミニツリーを作りました。皆さん気が付きましたか？



作業風景



SNAPメンバーと完成したツリー

ミニツリーは3つあり、それぞれ飾り付けが違います



お正月飾りに変身したツリー



クリスマスが終わったあとは、ツリーのオーナメントを玉飾りや「迎春」の色紙に変え、お正月飾りにしました。((注)1月12日に撤収済です。)

また来年も、来院された皆さんの心を和ませる作品を展示したいと思います。

フードバンク活動への参加

済生会では、生活困窮者を支援する事業として「なでしこプラン」を実施しています。その一環として、職員から余剰食品を募り、必要な方々に寄贈する「フードバンク」活動があり、余剰食品等の提供を通じて、持続可能な社会の構築と誰も取り残さない社会をつくることを目指しています。

夏と冬の年2回行っている当該活動ですが、11月に栄養部で備蓄していた保存食を提供し、今回は令和4年度 第3回目の活動となりました。

12月19日～1月10日まで募集し、食品148点の他にも、タオル・ふきん20枚、使い捨てカイロが30個集まりました。集まった食品は1月24日にNPO団体フードバンク金沢・能登へお届けしました。

